

概 要

1. 事業名

平常時・災害時共通 災害に強い地方創生ネットワーク事業（令和6年度）
～平常時・災害時に対応した自立分散型システムの整備～

2. 令和6年度事業費（概算額）

(1)総事業費 116,500千円（地方債：116,500千円）

※地方債は、「緊急防災・減災事業債」の活用を想定しており、その元利償還金の70%は国からの財政支援があります。

<参考> ランニング費用

年間平均 790万円程度（令和7年度以降）

※令和5年度（20ヶ所）、令和6年度（13ヶ所）整備後のランニング費用。

(2)事業費内訳（概算額）

令和6年度は想定される避難者数が多い主要避難所（13箇所）に整備。

* 各種システム（避難所・災害対策本部等の連携を図るシステムや

のべおかスマートシティWi-Fiエリア拡充など）の構築・運用 35,000千円

* ナーブネット基地局設置 46,500千円

* 衛星通信設備設置 35,000千円

※各事業の金額や内訳については、上記の総事業費を上限として、変更があり得ます。

3. 事業期間

令和7年3月31日まで

4. 連携する大学・企業

国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)、慶應義塾大学 S F C 研究所、一般社団法人全国地域活性化支援機構

平常時・災害時共通 災害に強い地方創生ネットワーク事業 <令和6年度>

事業費 116,500千円（地方債：116,500千円）

事業概要

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金を活用し整備した、プライバシー保護及びセキュリティ確保の面で信頼性が高く、耐災害性を有する自立分散型のシステム（NerveNet/ナーブネット）のカバーエリアを拡充する。

○平常時には「のべおかスマートシティWi-Fi」の利用を促進することで、出張者や観光客などの市ホームページの閲覧情報（足跡）を同意に基づき収集・分析し、見える化することで、「この時、この場所で、この方に、これを」といったOne to Oneの個別最適な情報提供を行うとともに、アンケート回答者に対する地域通貨「のべおかCOIN」ポイントの付与を行うなど、積極的な相互コミュニケーションによる新たなつながりを築くことで、関係人口の増加、域内消費の促進、効果的・効率的な地方創生施策の展開を図り、自律的で持続可能な地域経済の好循環を推進する。

○災害時、キャリア回線等が不通になっても、衛星回線を活用したWi-Fi環境「のべおかスマートシティWi-Fi」及びインターネット回線を必要としないナーブネット固有の通信環境を活用し、迅速な災害復旧や安否確認、避難生活に必要な生活必需品等の提供を可能とする環境を整備することで、誰一人取り残さない情報ネットワークによるBCPに強いまちづくりを推進する。

○こうした平常時と災害時の両方に対応したまちづくりを展開することにより、人口減少等に歯止めをかけ、地方創生の推進を図る。

具体サービス

1. ナーブネットを活用し、同意に基づき入手した情報を用いて、地域住民や関係人口の満足度向上に向けたOne To Oneの個別最適な情報を提供

・各分散サーバーが常に同期をとり情報を共有する、災害にも強いシステムを導入することで、災害時でも平常時と同様のサービスの提供が可能

- (1) (3) のアンケートに同意した出張者や観光客に対してポイントを付与し「外貨」を獲得する事業
 - ・アンケート回答者にはのべおかCOINポイント付与（500円分）
 - ・関心に応じて、飲食や観光情報、ふるさと納税等の情報をプッシュ型で通知
- (2) 地域住民に対して各種イベント情報、行政情報（子育て情報、教育情報等）を個別に提供
- (3) 市民や観光客などへのアンケート協力依頼システム

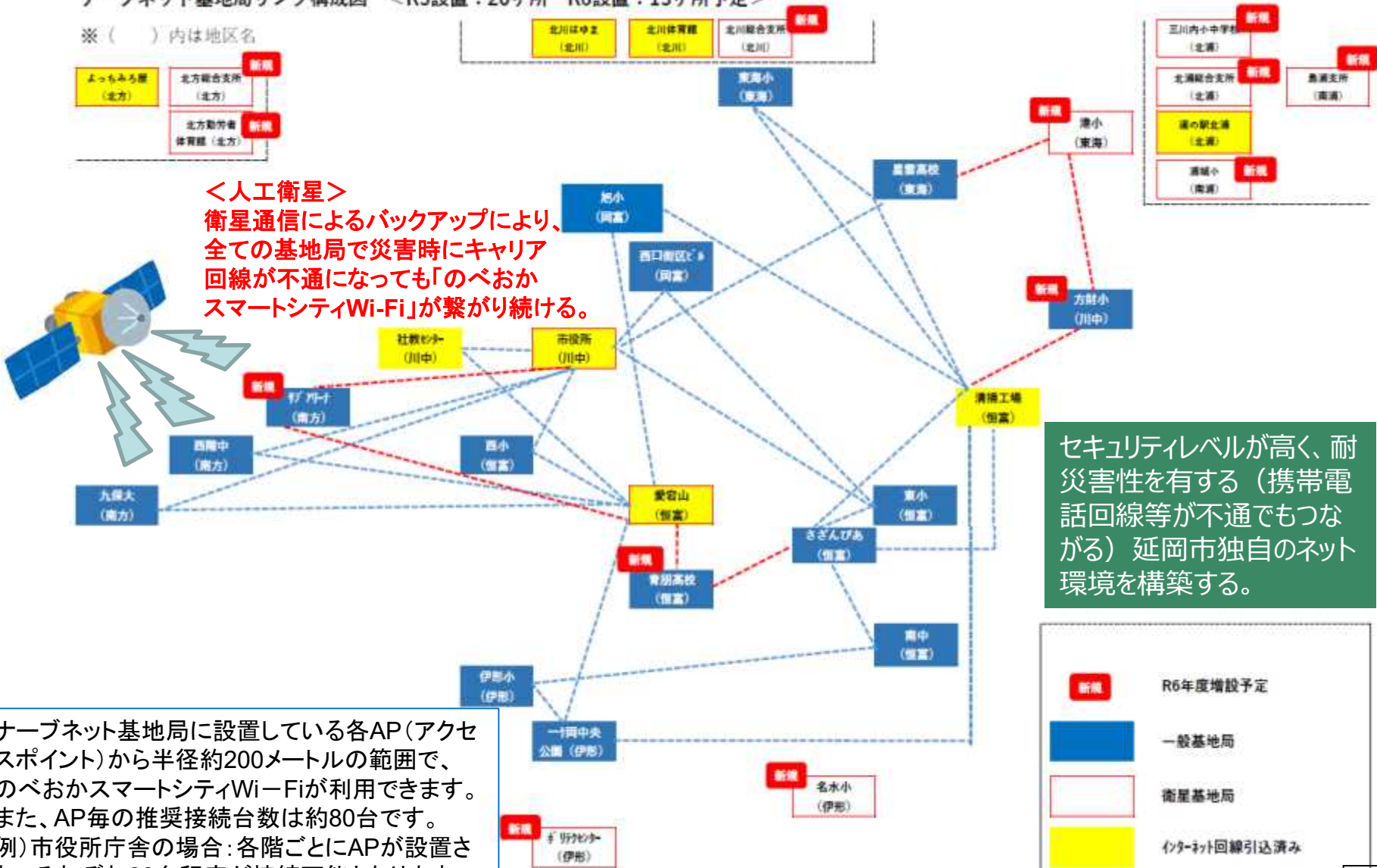
2. 避難所・災害対策本部等の連携を図るシステム

- (1) 避難所の入退出・安否確認を行う機能
- (2) 避難所からの被災者支援情報を発信する機能
- (3) 生活必需品の提供を可能とする環境の整備

令和5年度は主要避難場所や主な交通結節点等の20箇所に整備。
 令和6年度も主要避難場所や三北総合支所等の13箇所に整備。
 ※市内各地域にバランス良く分布するよう地区や中学校区を勘案し場所を選定。
 ※令和6年度までで市内の主要な屋内避難場所には整備が概ね完了する。

ナープネット基地局リンク構成図 <R5設置：20ヶ所 R6設置：13ヶ所予定>

※ ()内は地区名



<人工衛星>
 衛星通信によるバックアップにより、
 全ての基地局で災害時にキャリア
 回線が不通になっても「のべおか
 スマートシティWi-Fi」が繋がりを続ける。

セキュリティレベルが高く、耐
 災害性を有する（携帯電話
 回線等が不通でもつな
 がる）延岡市独自のネット
 環境を構築する。

ナープネット基地局に設置している各AP(アクセ
 スポイント)から半径約200メートルの範囲で、
 のべおかスマートシティWi-Fiが利用できます。
 また、AP毎の推奨接続台数は約80台です。
 例)市役所庁舎の場合:各階ごとにAPが設置さ
 れ、それぞれ80台程度が接続可能となります。

■ 新規	R6年度増設予定
■	一般基地局
	衛星基地局
	インターネット回線引込済み

平常時・災害時共通 災害に強い地方創生ネットワーク事業

平常時の運用イメージ



人工衛星

※平常時はキャリア回線につなぐため衛星回線は使わない。



インターネット

【延岡市】ナーブネット ※延岡市独自のネット環境（高いセキュリティレベルを確保）

のべおかスマートシティWi-Fi



市民

出張者

観光客

②情報分析により最適化された情報の提供

①情報収集の同意

①アンケート等回答
(出張者・観光客)

②のべおかCOINポイント付与

各種情報の見える化



市役所

同意による情報
アンケート情報

③市政策へ反映

関係人口の増加
双方向の情報交流
域内消費の促進



キャリア回線

キャリア回線につなぐことでインターネットも利用可能

災害時の運用イメージ



キャリア回線が断絶しても、人工衛星でつながるため、インターネットが利用できる。



【延岡市】ナーブネット ※延岡市独自のネット環境（高いセキュリティレベルを確保）

のべおかスマートシティWi-Fi



親戚・友人等



②物資搬送

①必要物資情報を収集

安否確認（LINE等）

避難状況の把握



必要物資の種類・数量を把握

誰一人取り残さない
BCPに強いまちづくり

インターネット



キャリア回線

(想定)

キャリア回線が断絶